

Journal of Southern TOHOKU Community

北極星

第263号 (9月号)

発行／一般財団法人脳神経疾患研究所

URL : <http://www.minamitohoku.or.jp> E-mail : pr@mt.strins.or.jp

この新聞は南東北グループ職員向けの院内紙です



院是「すべては患者さんのために」

本院及び関連施設の外部審査

ISO9001更新内定

「コロナ禍にあつてニーズに対応

(二財)脳神経疾患研究所
附属総合南東北病院のISO9001(品質マネジメントシステム)2015年版の更新審査は6月13日(月)、14日(火)の両日行われ、審査機関より適用基準を満たしているとの評価を得ました。これにより本院が取得するISO9001の「更新登録」が内定しました。

登録の範囲は、本院の総合南東北病院及び南東北医療クリニック、南東北眼科クリニック、南東北がん陽子線治療セ

ンターなどの関連施設です。

更新審査は3年ごとに行われ、今回が7回目。日本能率協会審査登録センターの審査チーム(4氏)によって行われました。今回は特に「マネジメントシステムのPDCA(計画・実行・評価・改善)が効果的に運用され、経営計画

に寄与しているか」に重点を置き審査しました。この結果、同センターは品質マネジメントシステムの有効性について「適用規格に適合し、総合評価基準を満たしている」と結論づけました。

総合所見では「コロナ禍にあつて地域のニーズや要望に

各種取り組み高く評価

観察事項は28 更なる努力を

ISO9001の更新審査では、「高く評価できる事項」が数多く報告されました。

具体的には、病理診断科(ヒヤリハット)に関して定型文書の報告と合わせ科内でもノートに記載して回覧、スタッフ全員が情報を共有している、薬剤科(コロナワクチン接種に伴うシリンジや針の取り扱い)、トラブル予防のため手順に沿って行われている、看護管理室(働きやすい職場づ

くりのため残業ゼロだけでなく、始業前30分より早い出勤をなくした)、医療相談室(SNSのネットワークを活用し転院先や介護施設入所先と円滑に連絡調整している)、法人本部(医師の働き方改革のため、タッチオンタイムによる業務時間チェックをほぼ100%実

今月号のなかみ

▽2面 本院が急性期充実体制加算の対象病院に、渡邊一夫記念奨学金の最初の奨学生決まる、水曜朝のカンファレンス再開

▽3面 コロナ禍に負けず各種研修、南東北医療クリニック前に発熱外来を開設
▽4面 人事(6月～8月)、編集後記

対して積極的に対応して、院内最大の陽性者の受け入れに対応している。感染対策についてもCOVIDチームを組織化し、院内での重大クラスターを防止するなど、成果を上げていく。今後の組織の課題も、理事長示達として明確な方向性が提示され、各部門や委員会活動を通じた確実な展開が行われるとともに、関連するマネジメントシステムの完全性も維持されている。ISOを本来の業務として組織のルールとして位置づけ、適切な運用状況が維持されている」と評価されました。

現した)などの事例が評価されました。
その一方で、苦情対応手順の確立(法人本部)、設定した教育計画に対する有効性評価(看護管理室)、チームカンファレンスの結果の看護計画への反映(呼吸器外科・看護部12病棟)、収集したデータの分析及び評価結果の明示(医療安全管理室)など28の観察事項が指摘され、改善へ更なる努力が求められました。



ISO更新審査の最終会議 (6月14日)

急性期充実体制加算

当院 施設基準満たす

福島県で初めての対象病院に

総合南東北病院は、8月1日から福島県では初めての「急性期充実体制加算」対象病院となりました。高度で専門的な急性期医療の実績を十分有している病院の証とも言えます。

や救急医療等の高度かつ専門的な医療及び高度急性期医療の提供体制を十分に確保している病院を評価するため、令和4年の診療報酬改定に合わせて新設された施設基準です。

急性期充実体制加算は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で果たした医療機関の役割も踏まえ、手術

施設基準の項目は、①急性期一般入院料の届け出②24時間の救急医療提供③手術等の実績④高度急性期医

療の提供⑤感染防止に係る取り組み⑥早期に回復させる取り組みなど多種にわたります。項目の内容も厳しく、手術等の実績では全身麻酔による手術が年2000件以上（うち緊急手術が年350件以上）、悪性腫瘍手術が年400件以上、腹腔鏡下または胸腔鏡下手術が年400件以上、心臓カテーテル手術が年200件以上などの要件が課せられています。早期回復への取り組みでは、一般病棟における平均在院日数が14日以内と定められています。当院は以前より総合的な

急性期病院として医療提供できる総合入院体制加算の対象病院でしたが、より一層高度な基準項目が求められる急性期医療への取り組みを行い、今回新たに設けられた急性期充実体制加算の施設基準を有する病院として認められました。7月1日現在の公表資料では、急性期充実体制加算の対象病院は全国の病院（200床〜1200床）のわずか12%に過ぎません。東北では8病院、福島県においては当院が初めてとなります。

渡邊一夫記念奨学金

奨学生「第1号」に 渡邊小次郎さん



福島県立医科大 3年生

医学の発展と将来の地域医療を担う医学生を支援するため、一般財団法人脳神経疾患研究所が昨年創設した修学支援貸与制度「渡邊一夫記念奨学金」の最初の奨学生に福島市の福島県立医科大学医学部3年、渡邊小次郎さん（23歳）が選ばれました。 渡邊さんは三春町出身。高校卒業後、教員を目指し東京都内の国立大学に入学しましたが、1学年在学中に祖母が亡くなりました。その際に祖母の治療をしてくれた、かかりつけ医の姿に胸を打たれ、医師を志すようになりました。それまで通っていた大学を退

学し、あらためて2年間勉強をしながら、福島県立医科大に入学しました。 渡邊さんは「総合南東北病院は子どもの頃、怪我などで診てもらったこともあり親しみがある。大学卒業後は、南東北グループの医療施設で臨床研修を積み医師としての人格を形成し、専門的なスキルや知識を身に付けたい」と意欲を燃やしています。 渡邊さんには貸与制度の規定に従い、大学を卒業するまで月額30万円の奨学金が貸与されます。貸与された奨学金は、渡邊さんが大学を卒業後、医師として南東北グループの

医療機関で一定期間、勤務または研修すれば返還を免除されます。 「渡邊一夫記念奨学金」は、医師を目指しながら経済的な理由で修学が困難な学生を支援するとともに、将来、南東北グループで活躍する医師を育成することを目的に南東北グループ発足40周年に当たる令和3年度に創設しました。奨学金の創設には、自らも苦学生であった渡邊一夫理事長（南東北グループ創立者）の熱い思いが込められています。 奨学生は毎年、3名程度の選考を予定しており、令和5年度も募集を行います。

水曜朝恒例のカンファレンス再開

新型コロナウイルスの感染拡大により、一時休止していた水曜朝恒例のカンファレンスは6月8日(水)から再開しました。

この日のカンファレンスでは、症例検討会で脳神経内科の江面道典先生が「ステロイド反応性再発性脳脊髄炎の一例」をテーマに症例を報告、考察を述べました。この後、救急外来や病床状況、感染状況などの定期報告が行われました。

カンファレンスは7月に入り、新型コロナウイルスの第7波により再び感染が急拡大したことから、症例検討会を当面休止とし、報告・連絡事項のみの会議として継続しています。



6月8日に再開した水曜朝のカンファレンス

コロナ禍に負けず各種研修

院外研修の報告会

総合南東北病院の教育研修委員会は6月17日(金)午後3時から北棟NABEホールで、職員の間外研修参加報告会を開きました。



院外研修の内容を報告する職員

新人フォローアップ

総合南東北病院の教育研修委員会主催の令和4年度新人フォローアップ研修会は6月28日(火)午後2時から北棟NABEホールで開かれました。

今年度入職した職員の間研修で、同期入職者との交流を深めること、入職後のやりがいや悩みを共有し今後の仕事に活かすことが目的です。本院と医療・眼科クリニック、ゴールドメディア、第二病院など八山地域の各施設から68人が参加しました。



研修で交流を深める新入職員

昨年度に院外の研修(ウェブ研修を含む)に参加した職員3人が研修内容を発表しました。3人は2病棟・看護師の水野佳織さん、歯科・歯科衛生士の三本木真澄さん、居宅ゴールドメディア・介護支援専門員の小笠原涼介さん。

ゲーム感覚の交流プログラムが用意され、参加者は楽しみながら研修を受けました。

「看護研究のまとめ方とプレゼンテーション」の研修を受けた水野さんは、研究論文の構成、まとめ方のポイント、文章の書き方、パワーポイントでの上手な表現の仕方などを発表しました。

三本木さんは「アンガーマネジメントに学ぶ」と題して、怒りをコントロールする方法などについて報告。小笠原さんは「家族信託」について報告し、成年後見制度との比較や実践事例などを紹介しました。

教育研修委員会会長の深谷院長代行が発表者に質問や助言などを述べ、会場からも意見を聞きました。

発熱外来 再び開設

クリニック前にプレハブ設置

総合南東北病院は、新型コロナウイルス感染症「第7波」の猛威に対応し、南東北医療クリニック前の駐車場に発熱外来を設置、7月27日(水)から診療を開始しました。

南東北第二病院に設置していた発熱外来は6月末で閉鎖しましたが、7月中旬以降、オミクロン株の派生型「BA5」を主流とした「第7波」による感染拡大で発熱患者が急増したことから、再び発熱外来を開設しました。

新たな発熱外来は、プレハブの独立した建物で受付、待合室、診察室などを備えています。診察室は患者さん側と医師側が完全にガラスで仕切られており、当日の担当医がタブレットなどを使ってガラス越しに診察、必要に応じた処置を取りります。

南東北医療クリニックとは異なる場所のため、一般外来の患者さんと動線が交わることはありません。診療時間は午前が10時から11時まで、午

OJTトレーナー研修

総合南東北病院の教育研修委員会は6月18日(土)、郡山市富田町のふくしま医療機器開発センターで、役職者を対象としたOJTトレーナー研修を開きました。

職場での実践を通じて業務知識を身に付ける手法で若手を育成していくOJTの指導者としての何をすべきかを理解するのが狙い。映像でドラマを見ながら、ストーリーの主人公としてOJTトレーナーの役割を疑似体験して研修しました。

本院、医療クリニック、第



OJTトレーナー研修

二病院などから32人が参加し、OJTトレーナーの基本姿勢や行動指針、本質的な目のなどを学びました。



新型コロナウイルス「第7波」に対応して設置された「発熱外来」

後は2時から3時まで。対応する医師はCOVIDチームだけでなく、他にも協力できる医師を募り、特別体制で診療を行っています。

人事

(6月~8月)

6月発表分

◇**看護師**▽南東北がん陽子線治療センター(総合南東北病院看護部) **高橋美穂**

◇**介護福祉士**▽ゴールドメディア(リハビリ南東北川俣) **遠藤敬子**

◇**事務職**▽南東北がん陽子線治療センター(総合南東北病院事務部) **馬場未来**▽南東北医療クリニック(同)

◇**長岡和枝**▽同 **市川真子**▽同(同)

◇**吉田瑠那**▽南東北眼科クリニック(同)

◇**松本朱里**▽総合南東北病院事務部(南東北眼科クリニック) **渡辺愛美**▽同(南東北がん陽子線治療センター) **小泉里未** 以上6月1日付

◇**採用**

◇**医師**▽リハビリ南東北川俣施設

◇**7月発表分**

◇**発令**

◇**医師**▽総合南東北病院救急集中治療科医長 **影山理恵**

◇**事務職**▽南東北福祉事業団常務理事兼脳神経疾患研究所法人本部事務局長 **大森正義**▽東京リハビリテーションセンター世田谷事務局長兼東京総合保健福祉センター江古田の森事務局長 **菊地弘** 以上7月1日付

◇**異動**

◇**看護師**▽泉崎南東北訪問看護ステーション(泉崎南東北リハビリ)

長 大谷昌平

◇**保健師**▽総合南東北病院看護部 **郡司真美**

◇**看護師**▽南東北福島病院看護部 **菅野るみ**▽須賀川診療所 **大河原美咲**

◇**看護アシスタント**▽総合南東北病院看護部 **鈴木めぐみ**▽南東北がん陽子線治療センター **佐藤幸枝**

◇**病棟クラーク**▽総合南東北病院看護部 **渡邊夏希**▽訪問看護ステーション南東北福島 **瓶子紗綾**

◇**介護福祉士**▽リハビリ南東北川俣 **齋藤有佑子** 以上6月1日付

◇**事務職**▽南東北がん陽子線治療センター **載云湧** 以上5月16日付

◇**リハビリ**

◇**川裕樹**▽泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター(泉崎南東北訪問看護ステーション) **江連裕香** 以上6月13日付

◇**介護福祉士**▽泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター(ゴールドメディア) **後藤直士** 以上7月1日付

◇**事務職**▽南東北医療クリニック(総合南東北病院事務部) **菊地信吾** 以上7月1日付

◇**出向**

◇**看護師**▽総合南東北病院看護部

(新百合ヶ丘総合病院) **石井聖香** 以上7月1日付

◇**出向解除**

◇**保健師**▽総合南東北病院看護部(南東北第二病院) **石井麻衣子** 以上7月1日付

◇**看護師**▽南東北第二病院(総合南東北病院看護部) **石井さゆり**▽同(同) **横田幸枝**▽南東北眼科クリニック(南東北第二病院) **荒川優子** 以上7月1日付

◇**准看護師**▽南東北第二病院(総合南東北病院看護部) **瀬谷陽子** 以上7月1日付

◇**助産師**▽総合南東北病院看護部(南東北第二病院) **亀井さゆり** 以上7月1日付

◇**8月発表分**

◇**異動**

◇**看護師**▽須賀川診療所(総合南東北病院看護部) **小林捺美**▽総合南東北病院看護部(南東北眼科クリニック) **増子真紀子**

◇**助産師**▽南東北医療クリニック(総合南東北病院看護部) **亀井さゆり**

◇**社会福祉士**▽富久山地域包括支援センター(ゴールドメディア) **良田博史**▽南東北第二病院(春日リハビリテーション病院) **総合南東北病院** **平田太美**

◇**事務職**▽泉崎南東北診療所(総合南東北病院事務部) **橋本小百合** 以上8月1日付

◇**出向**

◇**看護師**▽総合南東北福祉セン

◇**社会福祉士**▽新百合ヶ丘総合病院(総合南東北病院医療相談課) **藤田誠治** 以上6月30日付▽総合南東北病院医事相談課(新百合ヶ丘総合病院) **菊池真優** 以上7月2日付

◇**採用**

◇**医師**▽総合南東北病院眼科 **榎本彩乃**▽同外傷センター(出向契約) **高橋翼**

◇**看護師**▽総合南東北病院看護部 **伊藤志保**

◇**看護アシスタント**▽総合南東北病院看護部 **朝妻美記**▽南東北医療クリニック **矢野優雅**

◇**介護福祉士**▽ゴールドメディア **瀨川美沙希**▽リハビリ南東北川俣 **熊谷和也** 以上7月1日付

◇**タ**

◇**鈴木由美** 以上8月1日付

◇**介護福祉士**▽南東北シルクロード館(リハビリ南東北川俣) **菅野千尋** 以上7月19日付▽総合南東北福祉センター八山田(同) **五十嵐守**▽南東北シルクロード館(同) **高野裕太** 以上8月1日付

◇**出向解除**

◇**介護福祉士**▽リハビリ南東北川俣(総合南東北福祉センター八山田) **小林大地** 以上8月1日付

◇**採用**

◇**看護師**▽総合南東北病院看護部 **柳沼美来** 以上8月1日付

◇**事務職**▽法人本部財務担当室 **横山理** 以上7月13日付▽法人本部主任 **廉野健洋** 以上8月1日付

編集後記

新型コロナウイルスが猛烈な勢いで感染拡大する中、他の感染症のニュースも次々と飛び込んできます。サル痘、RSウイルス、手足口病……。中でも驚いたのは過去の性病と思われていた梅毒の急増です。そう言えば結核もまたなくなっではいけません。これらは歌の文句じゃないけれど、昔の名前で出ています。感染症を断ち切るには、余程粘り強く戦う必要があるらしい。

とんこつ黒マー油ラーメン 薬膳グリーンカレー コーヒー

レストラン「へるす」

ランチタイム 11:00~15:30

☎024-983-7725 (内線2509)

皆様のご来店をお待ちしております。

北極星

2022年9月号

発行 一般財団法人 脳神経疾患研究所 法人本部広報担当

郡山市八山田七丁目115

電話 024-93415708

印刷 石井電算印刷株式会社



ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C010137

「北極星」は責任ある森林管理により生まれた FSC® 認証紙を使用しています。



「北極星」は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。



「北極星」は、環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。